

特別講演会

「ぼくのしてきた研究」

特別講師： 日高 敏隆（前総合地球環境学研究所長）

日 時： 平成 20 年 4 月 23 日(水) 15 時～16 時 30 分

場 所： 国立極地研究所 管理棟 6 階 講堂

(住所： 板橋区加賀 1-9-10)

~~~~~

### 【日高敏隆先生 プロフィール】

- ・ 1930年 東京生まれ
- ・ 1952年 東京大学理学部動物学科 卒業
- ・ 1959年 東京農工大学講師。その後、助手、教授
- ・ 1975年 京都大学教授
- ・ 1982年 日本動物行動学会 初代会長 就任
- ・ 1995年 滋賀県立大学 初代学長 就任
- ・ 2001年 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構  
総合地球環境学研究所 初代所長 就任
- ・ 2007年 総合地球環境学研究所 顧問

東京都渋谷区出身。少年時代から昆虫採集に熱中するいわゆる「昆虫少年」。当時は昆虫少年同士の全国的な文通や同人誌を通じたネットワークがあり、世代の近い養老孟司や同年生まれの矢島稔など、その後昆虫少年からプロの研究者になっていった人々と、その頃から交流があった。

小学校時代から昆虫学者を志していたが、両親の無理解に苦しむ。また、当時通っていた小学校のスパルタ教育に馴染めず登校拒否に陥り、自殺を考えたこともあるが、担任教師が両親に掛け合って、日高が昆虫学の道に進むことを承諾させると共に、より自由な校風の麻布の小学校に越境入学させたことで命を救われた。

旧制成城高等学校（在学中に学制改革を経験し、成城大学となる）で関心の対象が動物学に移り、1952年に東京大学理学部動物学科を卒業。昆虫を研究材料とした生理学的研究から、次第に新しい動物行動学の要素を取り入れた方向に研究を発展させていった。昼間岩波書店に勤務し、夜間東京大学の研究室で研究を続けていた駆け出しの研究者の頃、動物学科の後輩の畑正憲と交流を持つ。

東京農工大学講師・助教授・教授を経て、1975年に京都大学教授就任。1982年に創設された日本動物行動学会の初代会長に就任。1993年に京都大学を退官した後は、1995年から滋賀県立大学初代学長。

総合地球環境学研究所の設立に尽力し、2001年創設の同研究所初代所長に就任。地球環境問題を、人間と自然の相互作用の帰結ととらえ、未来可能性のある地球環境の創出に向けての研究を推進した。2007年に退職。現在は、総合地球環境学研究所顧問。